

施策提言WGの開催

4月6日(水)に施策提言WGがリモートで開催されました。当日の出席者は、事務局を含め15名でした。今回のWGでは、現在作成中の提言書の中に、ポスト「富岳」に対する産業界としての期待をどのように織り込んで表現していくか、についてを中心に議論が進みました。どのようなアーキテクチャが望ましいかというのではなく、利用者の立場から言うと、利用するソフトウェアの性能を一番引出せるハードウェアが望ましい、等様々な意見が出ました。この問題は、同時平行で進んでいるHPCロードマップWGでも議論されていることから、HPCロードマップWGの見解との整合性も勘案しつつ、今回出た様々な意見を集約して、今後提言書に成文化していくこととなりました。

第56回企画委員会の開催

4月20日(水)に企画委員会がリモートで開催されました。当日の出席者は、事務局を含め、24名でした。今回の企画委員会は、5月20日に開催予定の運営委員会向けの資料の準備状況確認が中心の議題でした。なお、運営委員会前の5月12日にも企画委員会開催を予定しているので、運営委員会へ提出する資料の最終的なチェックは、その際に行う予定です。今回の委員会のアジェンダは、以下の通りです。

《アジェンダ》

1. 前回議事録の確認
2. 2021年度事業報告(案)
3. 2021年度決算報告(案)
4. 2021年度活動報告(案)
 - ① 施策提言WG活動報告(案)
 - ② HPCロードマップWG活動報告(案)
 - ③ 人材育成WG活動報告(案)
 - ④ コミュニティ活動報告(案)
5. 2022年度事業活動体制(案)
6. 2022年度事業活動計画(案)
7. 2022年度事業予算(案)
8. その他

HPCロードマップWGの開催

4月26日(火)にHPCロードマップWGがリモートで開催されました。当日の出席者は、事務局を含め22名でした。冒頭に当WGの主査委員が人事異動に伴い交替する旨の報告があり、後任委員の挨拶がありました。また、オブザーバとして参加されているRISTのメンバーでも人事異動があり、オブザーバの交替の報告がありました。

本題については、まず最初に2022年度の活動計画について主査より報告があり、情報共有い

たしました。続いて、ポスト「富岳」についての産業界としての見解について意見交換を行いました。次期フラッグシップマシンについての議論は、アカデミアを中心に議論が進んでおり、文部科学省からも産業界としての期待を早めに示すように要請がきております。産応協としては、会員に展開したアンケートを基に意見を纏めていく予定ですが、施策提言WGが検討中の2021年度の提言書との整合性も配慮しつつ、この問題についてのロードマップWGの意見を纏めていくことにしました。

続いて、化学・材料分野の検討グループで進めているアカデミアの先生方へのヒアリング実施状況についての報告が行われました。合計で8名の先生方からのヒアリングを進めており、既にヒアリングを終えた先生からのご意見が紹介されました。

人材育成WGの開催

4月27日（水）に人材育成WGがリモートで開催されました。当日の出席者は、事務局を含め15名でした。今回は、先日会員対象に実施した『「富岳」に関する人材育成についてのアンケート』結果を共有した上で、意見交換を実施しました。アンケートでは、当初の予想通り「OSSを利活用できる人材育成」「商用ソフトを利活用できる人材育成」等が期待される人材育成施策として挙がってきましたが、一部当初の予想を覆すような意見も出てきていたので、今後このような少数意と言えども貴重な意見をどのようにして課題として取り込んでいくか、がポイントになると思われます。

以 上

<p>【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】 住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階 電話：03-3435-5425 E-Mail：icscp_office@icscp.jp 担当：中川，滝口</p>

《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

